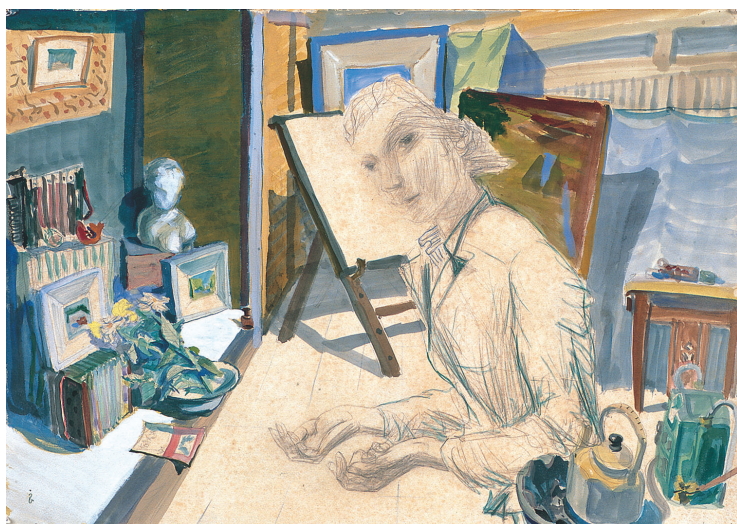


長岡出身
——
水彩画の巨匠

小山良修展



「ノートルダム」1953年



「偶在」1937年

没後二十年、長岡市所蔵作品のうち
約一二〇点を一堂に展示。

平成23年4月23日(土)
~6月12日(日)

■午前9時～午後5時 月曜休館(ただし5/2(月)は開館)

・発券は午後4時30分まで ・4/23(土)は12時より開場

■観覧料／

一般300円(200円)・大高生150円(100円)・中学生以下無料

※()内は20名以上の団体割引料金



「ガラス」1946年

長岡市栃尾美術館

〒940-0237 新潟県長岡市上原町1-13

TEL.0258-53-6300 FAX.0258-53-6370

<http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>

主 催 長岡市教育委員会・長岡市

主 管 長岡市栃尾美術館

後 援 新潟日報社、読売新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、長岡新聞社、
栃尾タイムス社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、
UX新潟テレビ21、ケーブルテレビのエヌ・シー・ティ、エフエムラジオ新潟、
FM PORT79.0、FMながおか80.7、マイスキップ、長岡市美術協会、栃尾文化協会

協 力 日本水彩新潟県中越支部

長岡出身 — 水彩画の巨匠

小山良修展

平成23年4月23日(土)~6月12日(日)



「手鏡(自画像と鏡)」1977年

小山良修は、1898年(明治31)、長岡市の代々藩医をつとめた家柄に生まれました。長岡中学校、金沢の第四高等学校を経て、東京帝国大学医学部を卒業、東京女子医科大学名誉教授など、医学者として大きな功績を残すとともに、日本を代表する水彩画家としても知られています。生家が、長岡市出身の明治期の洋画家・美術教育者の小山正太郎の分家だったこともあり、絵画への興味も尽きず、上京後の1920年(大正9)に日本水彩画会研究所に入ります。その後、研究所仲間の中西利雄・富田道雄と蒼原会を結成、展覧会や写生会など精力的に活動しながら、日本水彩画会・光風会・新制作派協会などの公募展へ出品を続けました。1940年(昭和15)、小堀進・春日部たすくらと水彩連盟を結成、戦後は、画家として活躍するとともに、日本水彩画会の理事を務めるなど、会の重鎮として日本水彩画の発展に尽力します。また、長岡市展の審査員を17年間つとめるなど、郷土美術の発展や後進の指導にも大きく貢献し、1991年(平成3)に92歳で逝去しました。

本展は、小山良修の没後20年にあたり、市所蔵の作品約120点をあらためて一堂に展示するものです。出身地での10年ぶりの大規模展示となるこの機会に、静物・人物・風景など写実から抽象的表現まで水彩画の可能性を追求しつづけた小山良修の70年あまりの画業と豊かな感性を存分にご覧いただけます。

【関連イベント】

●座談会「小山良修先生の思い出」

内 容:小山良修のゆかりある方々からお話を伺います。
日 時:4/23(土) 14:00~15:00
会 場:1階エントランスホール、参加料:当日の観覧券 申込不要

●「水彩による写生講座」

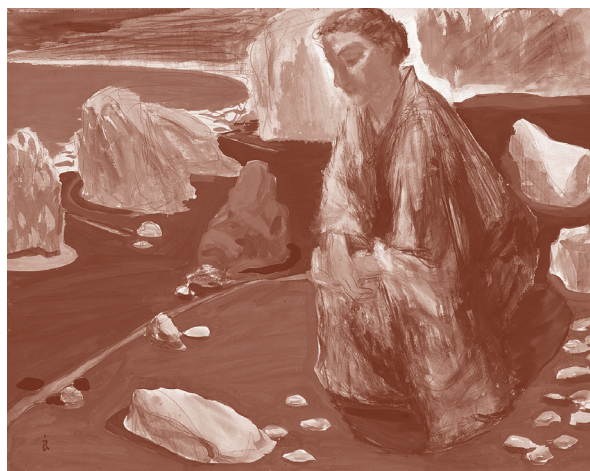
内 容:栃尾美術館周辺を写生しながら水彩画の基礎を学びます。
日 時:5/8(日)、6/5(日) 9:30~16:00
集 合:アトリエ 講 師:日本水彩新潟県中越支部本部会員の皆さん
定 員:各20名(先着) 対 象:中学生以上
参加料:当日の観覧券 持ち物:写生用具、画用紙、昼食など
申込方法:5/8(日)の講座は4/15(金)から電話で。
6/5(日)の講座は5/13(金)から電話で。

●オープンアトリエ「水彩絵の具を体験しよう」

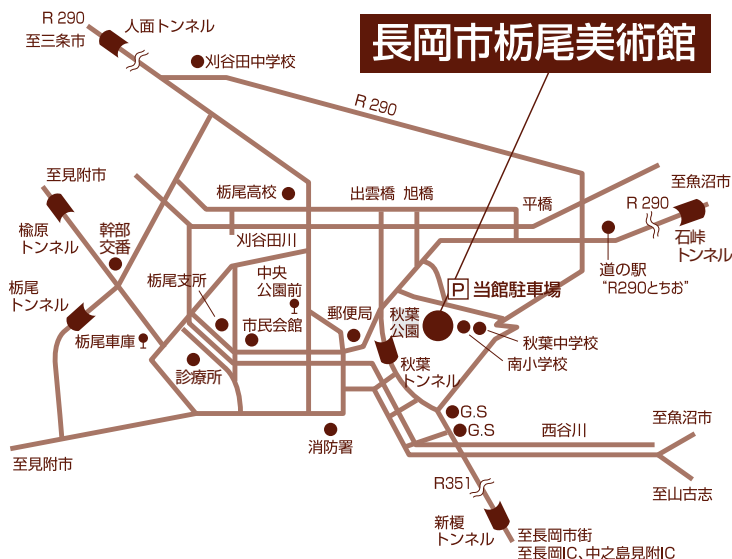
内 容:水彩絵の具を体験し、カードなどを作ります。
日 時:4/24(日)・5/21(土)・6/4(土) 13:30~15:30(参加無料)
会 場:アトリエ ※申込不要。お好きな時間においでください。



「水道タンク」1977年



「砂」1937年



長岡市栃尾美術館

〒940-0237 新潟県長岡市上原町1-13
TEL.0258-53-6300 FAX.0258-53-6370
<http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>
長岡市立中央図書館トップページ→長岡市栃尾美術館からご覧ください。